

# 福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	中丹地域有害鳥獣処理施設管理事業					事業コード	060202210105					
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	2 有害鳥獣対策の推進			施策コード	832						
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課			所属長	中田 浩二						
会計情報	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費		会計	01 一般会計	決算附属資料	170	頁
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和7年度	関連計画名	福知山市鳥獣被害防止計画			R6現在の状況	継続中		
根拠法令等	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 綾部市及び舞鶴市との共同経営 )											
関連事業	有害鳥獣捕獲事業、有害鳥獣防除事業、スマートシティ推進事業(有害鳥獣捕獲)											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	有害鳥獣により増加する農作物被害を軽減させるため、共通の課題を抱える中丹3市(福知山市、綾部市、舞鶴市)の共同利用施設として設置した「中丹地域有害鳥獣処理施設」の適正な管理運営を行うことにより、駆除隊員の埋設労力負担を軽減し捕獲意欲の増進を図り、農作物被害の軽減を推進する。											
対象者	福知山市有害鳥獣駆除隊員	対象者数	213	単位あたりコスト	341.1							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	PSSユニオン、株式会社ファノバ福知山営業所、株式会社環境総合リサーチ、株式会社ニチゾウテック福知山事業所、城谷建設株式会社											
事業概要 (箇条書き)	捕獲された有害鳥獣の個体を保管している一時保管用冷凍庫から回収する。 大江町三河に設置した有害鳥獣処理施設に運搬し、焼却処分を行う。 焼却残渣を福知山市・舞鶴市・綾部市に分け、各市の処分場に運搬する。 焼却施設等の維持管理業務を行う。 主な利用特定財源以外の特定財源：中丹地域有害鳥獣処理施設管理事業基金繰入3,292千円(決算附属資料39頁)											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容									
	需用費	24,359	電気代、水道料、物品購入、冷凍庫修繕、運搬用2t冷凍車修繕									
	委託料	26,287	中丹地域有害鳥獣処理施設 運転・維持管理、ホイスト特定自主検査、排ガス等測定業務									
	使用料及び賃借料	110	土地借上料、ネット通信料									
	工事請負費	13,310	中丹地域有害鳥獣処理施設 焼却設備改修工事									
	役務費	51	建物総合損害共済									

## III 予算執行状況

区分		R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	64,219	66,070	70,325	0				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0						
小計(①~③)		64,219	66,070	70,325	0				
予算財源内訳	① 一般財源	36,538	31,916	31,201	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	2,100	4,800	5,200	0				
	⑤ その他特財	25,581	29,354	33,924	0				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	64,219	66,070						
	③ 執行額	60,422	64,117						
	④ 執行率	94.1%	97.0%						
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.66 / 0.00	1.05 / 0.05	/	/				
	② 概算人件費	5,280	8,540						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		65,702	72,657						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	中丹地域有害鳥獣処理施設管理運営他市負担金	種類	雑入	実績金額	27,127	決算附属資料	47	頁
		中丹地域有害鳥獣処理施設管理事業(過疎対策)		農林業債		3,800		52	
		中丹地域有害鳥獣処理施設管理事業(きょうと地域連携交付金)		農林業費府補助金		16,393		26	

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	有害鳥獣による農作物年間被害額	千円	34744 / 29247	15874 / 27251	34224 / 27370	/ 24290	21560
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	年間処理頭数	頭	9301 / 4205	8621 / 4205	9258 / 4205	/ 4205	4205
	単位あたりコスト		5.8	7.0	6.9		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	有害鳥獣対策は、本市において喫緊の課題である。本施設の設置(H27年8月竣工)以前は、捕獲した個体を埋設していたが、本施設の設置により埋設労力が軽減し、有害鳥獣捕獲の推進に寄与している。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	焼却時の燃料の灯油について、入札による単価契約を締結し、コスト削減を行っている。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	活動実績は年間処理頭数としているが、目標より大幅に増加傾向にある。これは、有害鳥獣の捕獲が活発に行われている現れである。有害鳥獣の捕獲が活発に行われている理由として、本施設により捕獲鳥獣を埋設処分する労力が軽減されたことが挙げられ、有害鳥獣の捕獲に対し大きな成果となっており、投資効果の高い事業であると考えている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	有害鳥獣対策事業の推進により、農作物被害額は減少していたが、令和5年度は、果物の被害が多く被害額が増加した。対策を緩めると、有害鳥獣の生息数増加や、農地への侵入による農作物被害の拡大が懸念されるため、継続して「捕獲」と「防除」両面の対策を推進する必要がある。「有害鳥獣処理施設」においては、駆除隊員の負担を減らすことにより、有害鳥獣捕獲の推進に寄与しているが、当初の処理計画頭数を大幅に上回る処理頭数となっているため、駆除隊員には埋没処分等の依頼を行っている。		
改善策	一時保管用冷凍庫を増設する等、有害鳥獣の搬入が多い秋頃の焼却処理頭数のピークカットを行い、焼却炉の長寿命化を図る。中丹地域有害鳥獣処理施設運営協議会の中では、令和7年度に一時保管冷凍庫の増設を検討している。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合      (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合      (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	有害鳥獣捕獲事業					事業コード	060202210108					
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	2 有害鳥獣対策の推進			施策コード	832						
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課			所属長	中田 浩二						
会計情報	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費		会計	01 一般会計	決算附属資料	171	頁
計画期間	開始年度	平成25年度	終了予定年度	令和7年度	関連計画名	福知山市鳥獣被害防止計画			R6現在の状況	継続中		
根拠法令等	鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律、福知山市鳥獣被害防止対策事業実施要綱、福知山市有害鳥獣捕獲事業デジタル簡易無線機導入補助金交付要領、福知山市有害鳥獣捕獲隊狩猟免許取得支援事業補助金交付要綱											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業	有害鳥獣防除事業、中丹地域有害鳥獣処理施設管理事業、スマートシティ推進事業(有害鳥獣捕獲)											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	本市におけるシカ・イノシシ等の野生鳥獣による農作物被害の軽減を図るため、「福知山市鳥獣被害防止計画」に基づき、有害鳥獣駆除隊による捕獲を効果的に実施する。											
対象者	福知山市有害鳥獣駆除隊員	対象者数	213	単位あたりコスト	448.4							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	福知山市有害鳥獣駆除隊員											
事業概要 (箇条書き)	農作物被害の軽減を図るため、駆除隊員による有害鳥獣の捕獲を実施 捕獲実績に基づき、獣種や捕獲方法に応じた報償金を支払う。 狩猟免許の取得費用や、ハンター保険加入費用等の活動経費に対して支援を行う。 特財名称：鳥獣捕獲等許可証等再交付手数料、種類：農林手数料、実績金額2千円、決算付属資料13頁											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容									
	報償費	84,869	有害鳥獣捕獲報償金									
	需用費	872	消耗品費、備品等修繕費									
	役務費	1,229	通信費、郵送料、突発対応空振り手数料									
	負担金補助及び交付金	973	デジタル簡易無線機補助金、狩猟免許取得補助金、賠償責任保険等補助金									
	旅費、使用料及び賃借料	105	普通旅費、デジタル複合機使用料									

## III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	106,084	105,015	102,662	0				
	② 補正予算	△ 15,563	△ 4,670	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0						
小計(①~③)	90,521	100,345	102,662	0					
予算財源内訳	① 一般財源	53,289	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	37,220	45,820	49,446	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	12	54,525	53,216	0				
決算情報	① 流充用額	△ 173	△ 69						
	② 配当予算	90,348	100,276						
	③ 執行額	87,724	88,048						
	④ 執行率	97.1%	87.8%						
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	1.08 / 0.80	0.60 / 0.95	/	/				
	② 概算人件費	10,880	7,460						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	98,604	95,508							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	緑の公共事業(有害鳥獣駆除関係事業)	種類	農林業費府補助金	実績金額	7,237	決算附属資料	26	頁
		鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業		農林業費府補助金		34,220		26	
		有害鳥獣捕獲事業基金繰入(ふるさと納税基金)		基金繰入金		46,589		41	

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	有害鳥獣による農作物年間被害額	千円	34744 / 29247	15874 / 27251	34224 / 27370	/ 24290	21560
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	年間捕獲頭数	頭	6151 / 5965	5130 / 5965	5343 / 6485	/ 6485	6485
	単位あたりコスト		17.3	17.1	16.5		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<p>本市における有害鳥獣の駆除活動は、福知山市有害鳥獣駆除隊員の積極的な活動が要となる。駆除の要望は年々増加しているなど市民ニーズが高く、継続が必要な事業である。</p> <p>野生鳥獣の特性を熟知し、捕獲技術に優れた狩猟団体の構成員が実施しており、代替性のないものである。</p> <p>有害鳥獣の捕獲頭数増加に向け、捕獲実績に応じた報償金の支払いや活動に必要な経費への補助を行った。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<p>駆除隊員に対する報償費は、項目を細分化し、それぞれの項目が全て適切に行われたことが確認できた場合のみ、奨励金を満額支払うこととしている。適切な駆除活動が報告書等で確認ができなかった場合は、報償金の一部を減額するなど、適切な駆除活動の推進及び効率的な駆除活動の実施を図った。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<p>捕獲実績報告書に基づき、獣種別の捕獲実績を集計・把握している。</p> <p>活動実績は、福知山市鳥獣被害防止計画に基づく捕獲頭数であり、実績数値の管理もできている。</p> <p>兵庫県立大学や各狩猟団体と連携し、有害鳥獣の効果的な捕獲等に向け、兵庫県立大学や各狩猟団体と連携・情報共有等を行っている。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>有害鳥獣対策は、「捕獲」「防除」「生息環境管理」にバランスよく取り組む必要があり、いずれか一つでも対策を緩めると、有害鳥獣の農地への侵入による農作物被害の拡大が懸念されるため、「捕獲」対策を継続して推進する必要がある。</p> <p>令和5年度の捕獲頭数は前年度より増加しているが、SDGsの観点から、捕獲個体の有効活用に向けた取組を進めていく必要がある。</p>		
改善策	<p>有害鳥獣の捕獲実績に応じて支払う捕獲報償金のうち、ジビエ加工処理施設へ搬入したシカ・イノシシの報償金単価を拡充し、ジビエ利用の促進を図っていく。また、ジビエ推進に向けた講演会の実施を検討する。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合      (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合      (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	スマートシティ推進事業(有害鳥獣捕獲)					事業コード	060202210109					
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	2 有害鳥獣対策の推進			施策コード	832						
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課			所属長	中田 浩二						
会計情報	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費		会計	01 一般会計	決算附属資料	171	頁
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和7年度	関連計画名	福知山市鳥獣被害防止計画			R6現在の状況	継続中		
根拠法令等	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律、鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業	有害鳥獣捕獲事業、有害鳥獣防除事業											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	有害鳥獣対策に関する先進的知見を持つ兵庫県立大学の協力を得て、有害鳥獣対策に意欲的な地域から選定したモデル地区において、ICT機器を活用した地域主体の積極的な有害鳥獣対策を推進する。また、モデル地区で得られたデータやノウハウを有効活用し、モデル地区以外の地域においても「地域主体の獣害対策」を推進させるため出前講座を実施する。兵庫県立大と連携・協力して、ICTを活用した様々な有害鳥獣に関するデータを可視化するシステムを活用し、各地域における獣害対策の現状と課題を明確にすることで地域の獣害対策に係る意欲向上を図る。											
対象者	総農家(2020農林業センサスデータ)	対象者数	3,081	単位あたりコスト	5.6							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	兵庫県立大学(兵庫県森林動物研究センター)、福知山公立大学(情報学部)											
事業概要 (箇条書き)	<兵庫県立大学への委託に関する事> ・山中におけるニホンジカ・イノシシの生息密度推定調査 ・モデル地区への獣害対策の技術的支援・集落指導の実施支援(獣害対策レベルアップ事業) <福知山公立大学への委託に関する事> ・ICT機器のランニングコスト低減に向けたシステム開発及び実証実験											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容									
	旅費	153	ジビエ利活用技術者研修、鳥獣被害対策コーディネーター育成研修等参加旅費									
	需用費	542	デバイス管理用ソフトウェアライセンス、LoGoチャットライセンス、公用車燃料代、電池購入費									
	役務費	696	タブレット通信費、通信機能付きセンサーカメラSIMカード通信費									
	委託料	8,520	兵庫県立大学への研究委託費用									
	使用料及び賃借料	259	公用車長期継続契約賃借料									

## III 予算執行状況

区分		R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	16,294	11,130	14,460	0			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0					
小計(①~③)		16,294	11,130	14,460	0			
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0			
	② 国支出金	6,812	5,493	7,149	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	9,482	5,637	7,311	0			
決算情報	① 流充用額	0	0					
	② 配当予算	16,294	11,130					
	③ 執行額	15,365	10,170					
	④ 執行率	94.3%	91.4%					
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	1.04 / 0.00	0.74 / 0.45	/	/			
	② 概算人件費	8,320	7,180					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		23,685	17,350					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	スマートシティ推進事業(有害鳥獣捕獲)(デジタル田園都市国家構想交付金)	種類	農林業費国庫補助金	4,961	決算附属資料	17	頁
		スマートシティ推進事業(有害鳥獣捕獲)基金繰入(ふるさと納税基金)		基金繰入金	5,145		40	

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
		「地域主体の獣害対策」取組み地区数	地区	2 / 2	3 / 3	3 / 3	/ 3
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	モデル地区獣害対策集落指導	回	13 / 12	12 / 15	12 / 12	/ 8	—
	単位あたりコスト		1047.6	1280.4	847.5		
	獣害対策出前講座の実施	回	0 / 0	3 / 3	9 / 5	/ 10	—
	単位あたりコスト		0.0	5121.7	1130.0		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<p>各農区からの有害鳥獣対策の要望は強いが、人口減少・高齢化によって担い手の減少が進む地域においては、「地域主体の獣害対策」を普及させ、地域全体が連携協力して獣害対策に取り組む必要がある。</p> <p>獣害対策モデル地区において民・官・学が協働して先進的な対策を行い、地域主体の獣害対策の成功事例を作ることで、他地域へのスムーズな水平展開に繋げることができるため、市が事業を実施する必要性は高い。</p>	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<p>ICTを用いたデータの可視化システムの運用や、モデル地区における対策の水平展開に向けた今後のコンサルティング、ニホンジカ・イノシシの生息密度推定調査等に関しては、有害鳥獣対策への知見が深く、兵庫県内での実施事例のノウハウを持つ兵庫県立大学に委託することで、効果的な成果が得られる。</p> <p>また、ICT機器のランニングコスト低減に関しては、地域活性化のためのICT機器活用を専門に研究を行っている福知山公立大学の情報学部へ委託を行う。</p> <p>今後の地域主体の有害鳥獣対策の将来的な水平展開を鑑みて、経費は適正であると考えられる。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<p>地域主体の獣害対策のモデルとして現在市内3箇所で行っている「獣害対策モデル地区」を中心に、そこで得られたノウハウを市内他地域に水平展開していくことが重要である。</p> <p>農区・自治会・企業・学校等を対象として広く獣害対策に関することをテーマに市の専門職員が出前講座を実施することによって多くの市民へ獣害の現状や、対策方法の普及・啓発を図ることを目的とし、令和5年度は農区、学校(小学校～高校)、企業(JR西日本)を対象に合計9回出前講座を実施した。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>獣害対策の最終的な目標は、人口減少や高齢化が進む地方都市において、行政や狩猟者に過度に依存することなく、地域住民による地域主体の獣害対策を実現させることにある。</p> <p>福知山市獣害対策モデル地区では獣害対策を「地域づくり」の一環としてとらえ、民・官・学が協働して地域が主体の獣害対策に取り組んでいる。地域が主体で取り組む獣害対策には多くの関係者の協力を得ながら進めていくことが望ましく、定量的な評価としては捕獲数の増加や被害面積の縮小、被害額の減少が挙げられる一方で、定性的な評価としては地域住民の獣害対策に対するモチベーションの向上や被害地域の住民の当事者意識の改善、獣害対策のワークショップやそれに付随したイベントの実施等による関係人口の増加が挙げられる。</p> <p>令和5年度においてはICT機器を活用した「防除」と「捕獲」を地域住民主体で実施したことにより、農作物被害の低減(農区によっては被害ゼロ達成)や捕獲数の増加(R元年:0頭→R5年:26頭)と住民が実感できるレベルで事業の成果が表れたといえる。</p> <p>この地域主体の取り組みを継続的なものにするべく、地域のモチベーションの維持・向上やICT通信機器のランニングコストが課題として認識している。</p>		
改善策	<p>R6年度においては田植え前や収穫直前など農作物被害軽減のターニングポイントを中心に定期的なワークショップを実施し、地域主体の獣害対策の継続的な支援に向けた取り組みを継続していく。ICT機器を効果的に活用して地域の軽減負担を図りつつ、地域・市・大学の連絡を密に取り、双方向的な情報発信の中で効果的なアドバイスを行っていくため、兵庫県立大学に加えて、福知山公立大学とも連携(委託研究)を実施し、ICT機器の運用に係るランニングコストの低減に向けた検討を行っていく。</p> <p>また、モデル地区で得られた獣害対策のノウハウを集積することに努めるとともに、出前講座を企画・実施して他地域への水平展開を図る。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合      (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合      (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	有害鳥獣防除事業					事業コード	060202210110					
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち			政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立						
	施策名	2 有害鳥獣対策の推進			施策コード	832						
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課			所属長	中田 浩二						
会計情報	款	06 農林業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費		会計	01 一般会計	決算附属資料	171	頁
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和7年度	関連計画名	福知山市鳥獣被害防止計画			R6現在の状況	継続中		
根拠法令等	鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律、福知山市野生鳥獣被害防止対策事業補助金交付要綱											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業	有害鳥獣捕獲事業、中丹地域有害鳥獣処理施設管理事業、スマートシティ推進事業(有害鳥獣捕獲)											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	シカ、イノシシ等の野生鳥獣による農作物等被害を軽減するため、「福知山市鳥獣被害防止計画」に基づき、侵入防止柵の設置等の支援を通して防除対策を推進する。											
対象者	総農家(2020農林業センサスデータ)			対象者数	3,081		単位あたりコスト	4.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	福知山市有害鳥獣対策協議会、大丹波地域サル対策広域協議会											
事業概要 (箇条書き)	福知山市有害鳥獣対策協議会が実施する侵入防止柵の設置等の有害鳥獣対策事業に対して支援を行う。大丹波地域サル対策広域協議会に所属する関係市町、関係機関の情報共有を行う。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目		支出実績(R5)		主な業務内容							
	報償費		154		講師謝礼							
	需用費		120		消耗品費(追い払い用火火)							
	役務費		58		郵送料							
	負担金補助及び交付金		889		福知山市有害鳥獣対策協議会補助金、大丹波地域サル対策広域協議会市町負担金							

## III 予算執行状況

区分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	1,700		2,349		1,697		0		
	② 補正予算	0		2,810		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0		0		
	次年度繰越	0		0		0		0		
小計(①~③)		1,700		5,159		1,697		0		
予算財源内訳	① 一般財源	1,700		5,159		1,697		0		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	0		0		0		0		
決算情報	① 流充用額	0		0						
	② 配当予算	1,700		5,159						
	③ 執行額	782		1,221						
	④ 執行率	46.0%		23.7%						
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	1.09 / 1.00		0.80 / 1.70		/		/		
	② 概算人件費	11,520		11,160						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		12,302		12,381						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標	
	野生鳥獣による農作物年間被害額	千円	34744	/	29247	15874	/	27251	34224	/	27370	21560
			/		/		/	/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標	
	有害鳥獣侵入防止柵設置	km	64	/	44.1	32	/	43	43	/	37.6	5962.4
	単位あたりコスト		95.8		24.4		28.4					
			/	/	/	/	/	/	/	/		
	単位あたりコスト											

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<p>野生鳥獣による農作物等への被害は、単に農作物等の収穫量が減少するだけでなく、農家の営農意欲や農地保全に大きな影響を与える。このような中、福知山市有害鳥獣対策協議会が実施する「侵入防止柵」の資材貸与は、地元からの要望に基づき事業が進められている。本事業は、このような地元のニーズを的確に捉えた事業を支援することを通して野生鳥獣からの農作物被害を減らすことを目標としており、必要性、優先度ともに高い事業である。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<p>野生鳥獣対策においては、「捕獲」、「防除」、「生息環境管理」の3本柱の対策を総合的に取り組むことが重要である。このような中、捕獲を効果的に実施するための防除の要となる「侵入防止柵」は、施工性が優れ、長期間の使用に耐えることが必要であり、経費は妥当な水準である。また、事業の実施主体である福知山市有害鳥獣対策協議会は、「侵入防止柵」の発注を競争入札により行っており、コスト削減に向けた取り組みがなされている。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<p>活動実績は、福知山市有害鳥獣対策協議会の事業実施にかかる指標である。当協議会の事業を推進することで、活動実績が達成され、間接的に成果実績に結び付き、成果目標の達成を図るものである。活動実績は、侵入防止柵等の設置出来形を適切に検査確認し把握している。成果実績は、毎年度、農区等へ調査を行い、実態を把握しているものである。この活動実績指標の推進による投資に対し、成果実績指標の改善効果は、営農が継続される限り続くことが期待でき、投資効果の高い事業である。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>令和5年度は令和4年度に比べ鳥獣による農作物被害が増加しており、引き続き鳥獣対策の基本である「捕獲」、「防除」、「生息環境管理」の3本柱の対策を推進する必要がある。  「防除」対策においては、侵入防止柵の設置・設置後の維持管理の推進による侵入防止対策や、地域による追い払いや生息環境管理が重要な取り組みとなるが、いずれの取り組みも人員が必要となるため、高齢化が進む中、地元の労力確保が課題である。  また、クマの出没による生活環境被害や人身被害の懸念がある中、主な原因となっている柿の木対策が課題である。  令和5年度は、令和5年台風第7号により被災した鳥獣侵入防止施設の災害復旧事業に関する福知山市有害鳥獣対策協議会への補助金を補正予算で計上していたが、見込みよりも事業量が少なかったことなどにより執行額が縮小したため、50%未満の執行率となった。</p>		
改善策	<p>今後も防除対策に対する国の財政支援の強化を継続して要望する。  また、「防除」対策については、有害鳥獣対策を地域の課題として認識していただき、地域で対策を取り組んでいただけるよう、研修会等を通して普及啓発に努める。  クマの誘引物である柿の木等の対策についても、市ホームページやチラシの配布などにより広く地域への周知に努める。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合      (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合      (統合先事業名: )
--------	--